

企業価値の持続的な向上

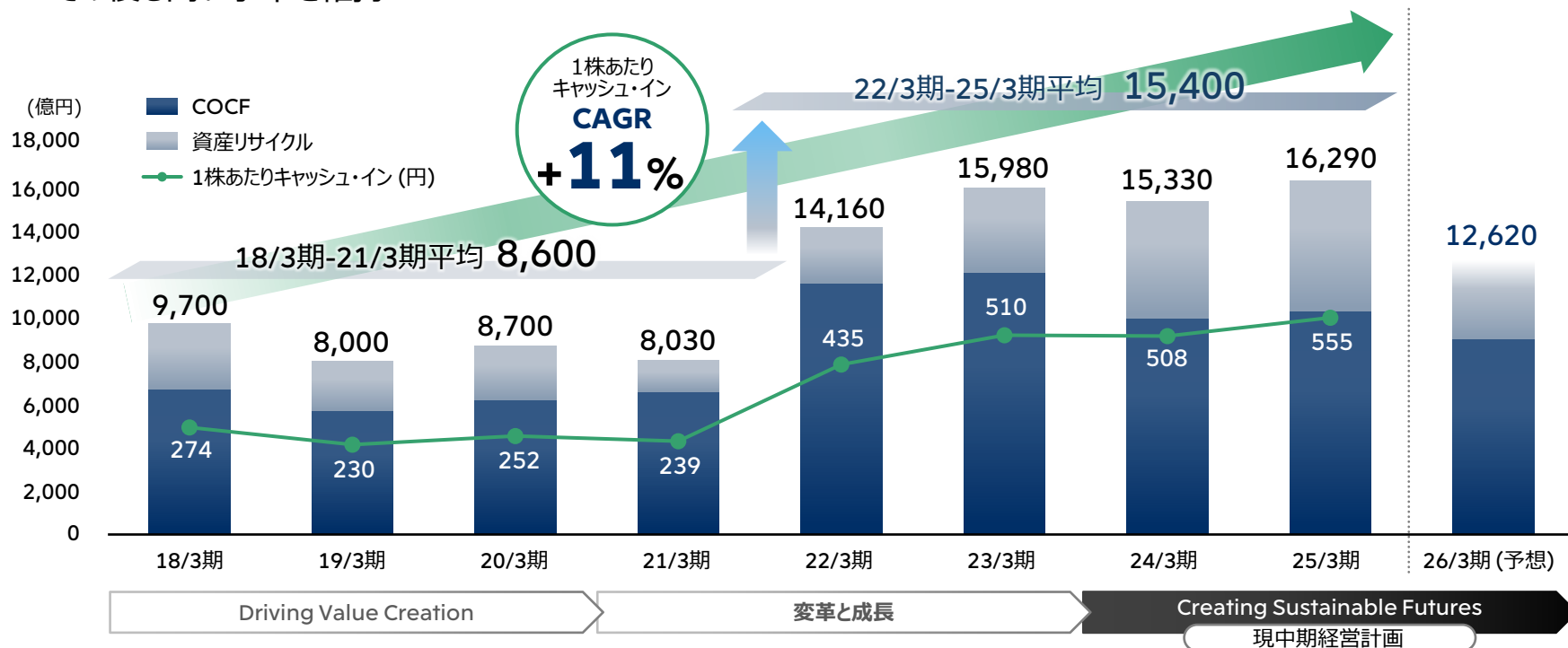
代表取締役副社長執行役員
CFO

重田 哲也



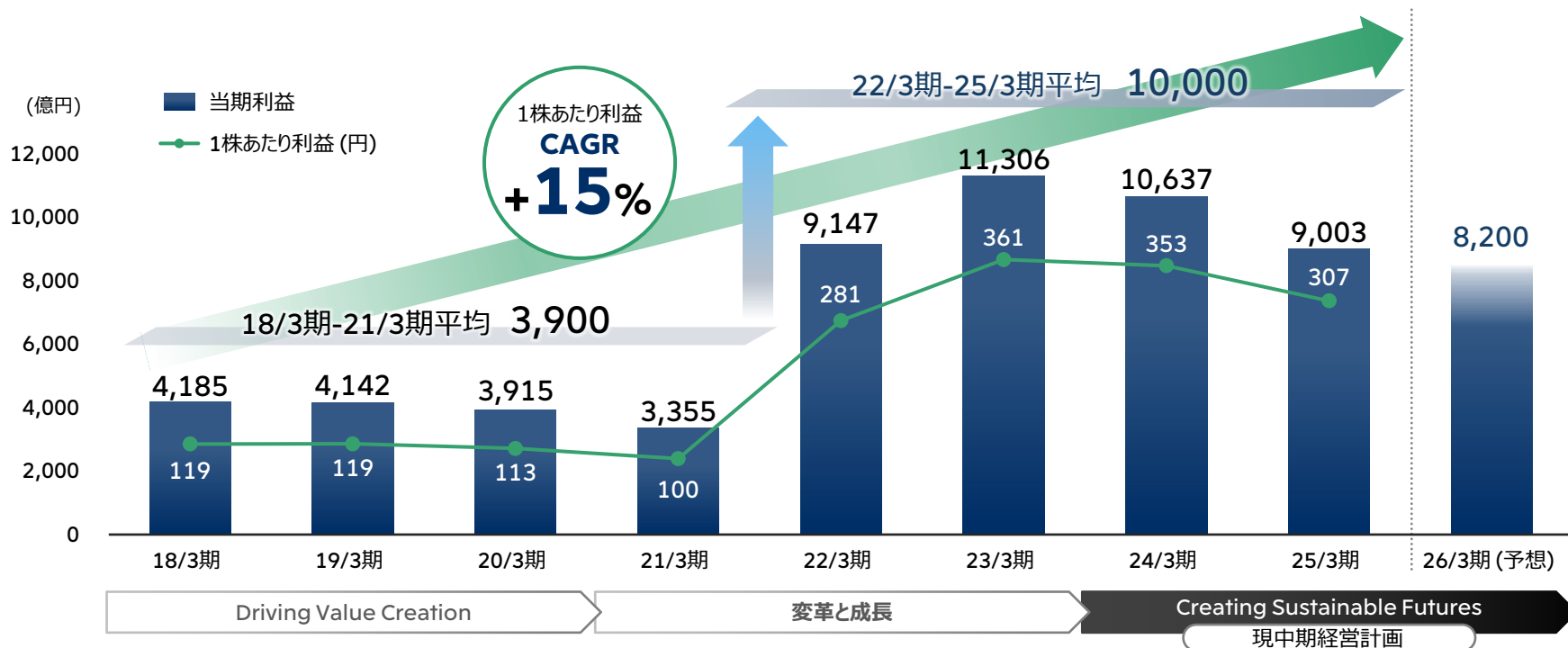
キャッシュ創出力と1株あたりキャッシュ・インの実績

- ◆ 基礎営業キャッシュ・フローと資産リサイクルによるキャッシュ・インを合わせたキャッシュ創出力の水準が一段切り上がり、その後も高い水準を維持



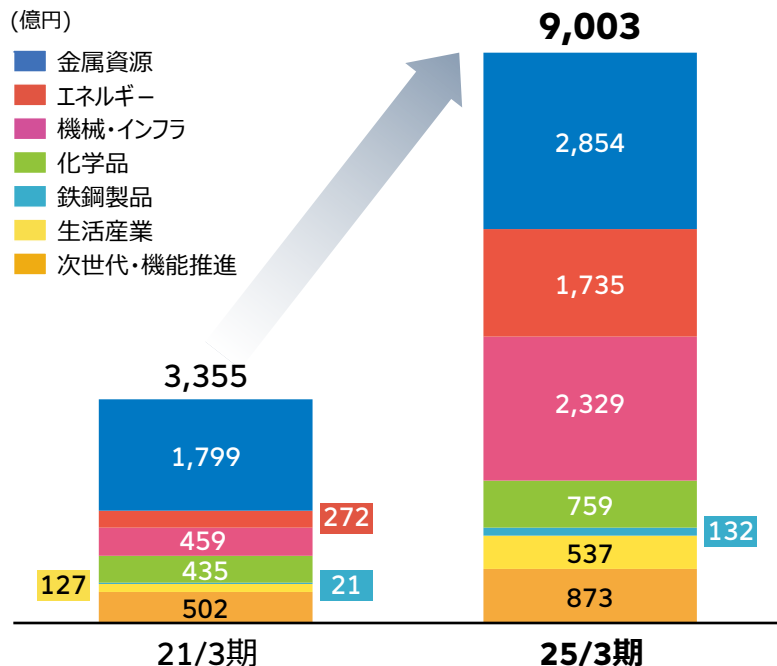
当期利益と1株あたり利益の実績

◆ キャッシュ創出力と同様に当期利益水準が切り上がり、以降4年間の当期利益平均は1兆円を超える



セグメント別当期利益の推移

◆ 各セグメントでの事業良質化、全社での事業ポートフォリオ良質化に取り組んできた結果、高い成長率を実現



セグメント	CAGR (21/3期 → 25/3期)	
	当期利益	資産リサイクル、 評価性/一過性除き
金属資源	12.2%	2.7%
エネルギー	58.9%	74.9%
機械・インフラ	50.1%	23.1%
化学品	14.9%	17.8%
鉄鋼製品	58.3%	83.2%
生活産業	43.4%	28.6%
次世代・機能推進	14.8%	1.3%
連結合計	28.0%	18.8%

*「その他・調整消去」の表示省略

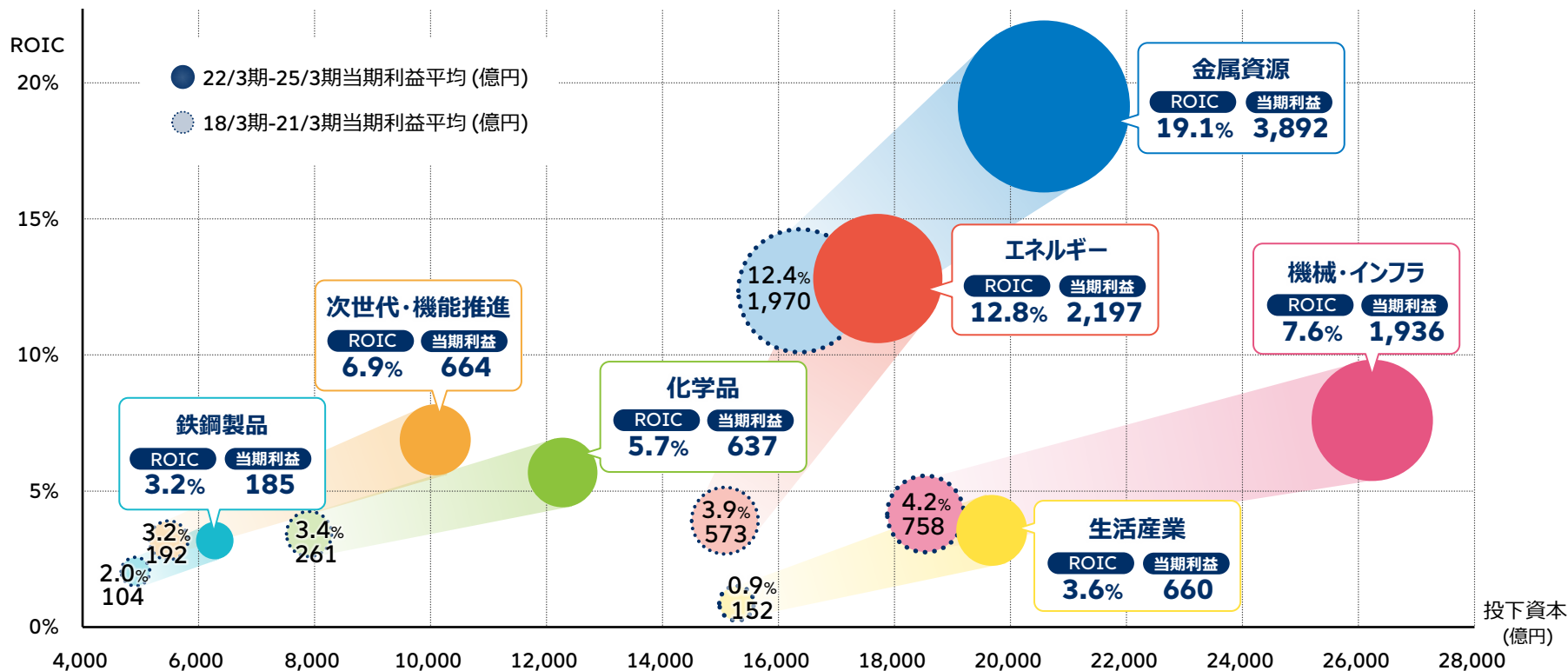
セグメント別 ROICの推移 (1/2)

- ◆ 当期利益水準のレベルチェンジャ、資産ポートフォリオ・レビューを通じた資本効率向上により、全セグメントで ROICが向上

セグメント		18/3期 - 21/3期 (平均)	22/3期 - 25/3期 (平均)
	金属資源	12.4%	19.1% (+6.7%)
	エネルギー	3.9%	12.8% (+8.9%)
	機械・インフラ	4.2%	7.6% (+3.4%)
	化学品	3.4%	5.7% (+2.3%)
	鉄鋼製品	2.0%	3.2% (+1.2%)
	生活産業	0.9%	3.6% (+2.7%)
	次世代・機能推進	3.2%	6.9% (+3.7%)
	連結合計	4.6%	9.0% (+4.4%)

* ROIC算出前提: 分子は当期利益、分母は投下資本の前期末残高と当期末残高の平均

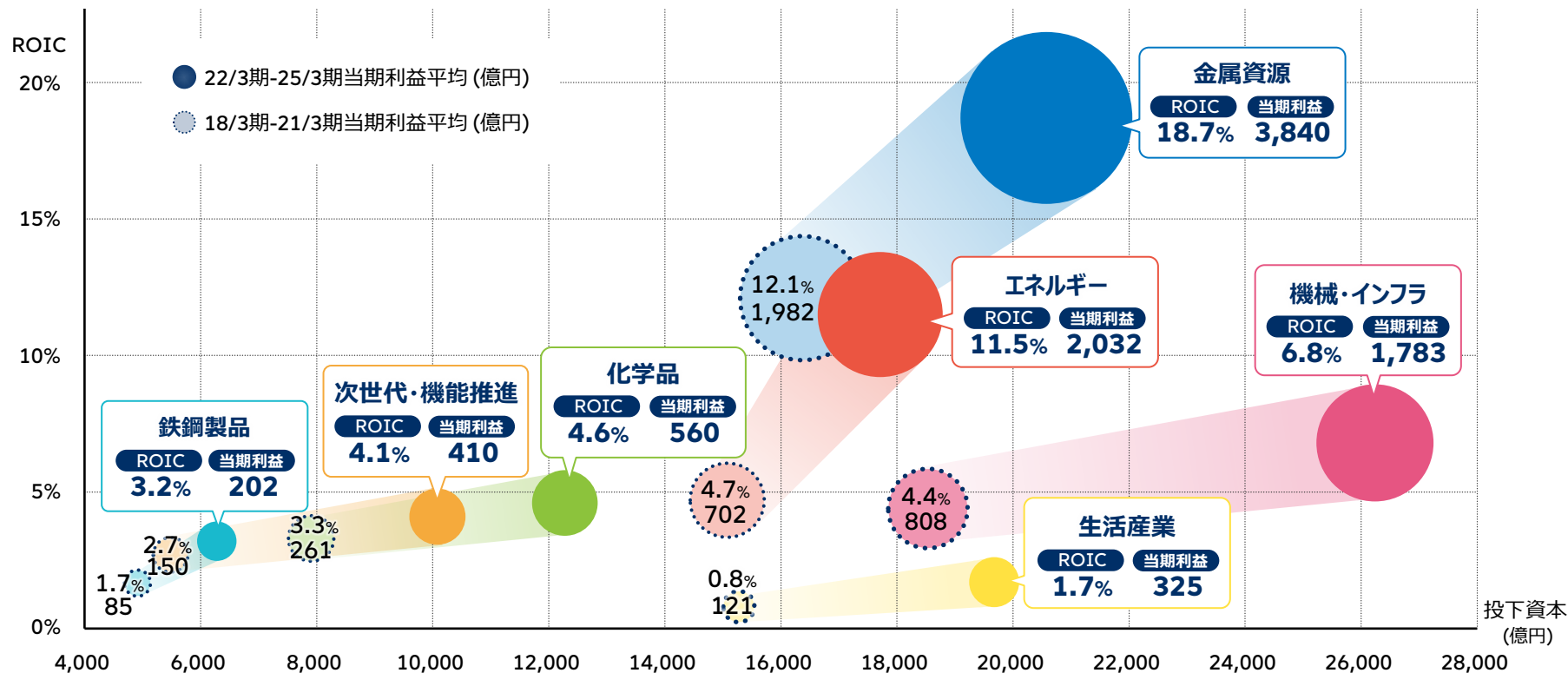
セグメント別 ROICの推移 (2/2)



* ROICは半年ROICの平均で計算しているため、当期利益をROICで割り戻して算出される投下資本と、チャートが示す投下資本は一致しない

ご参考

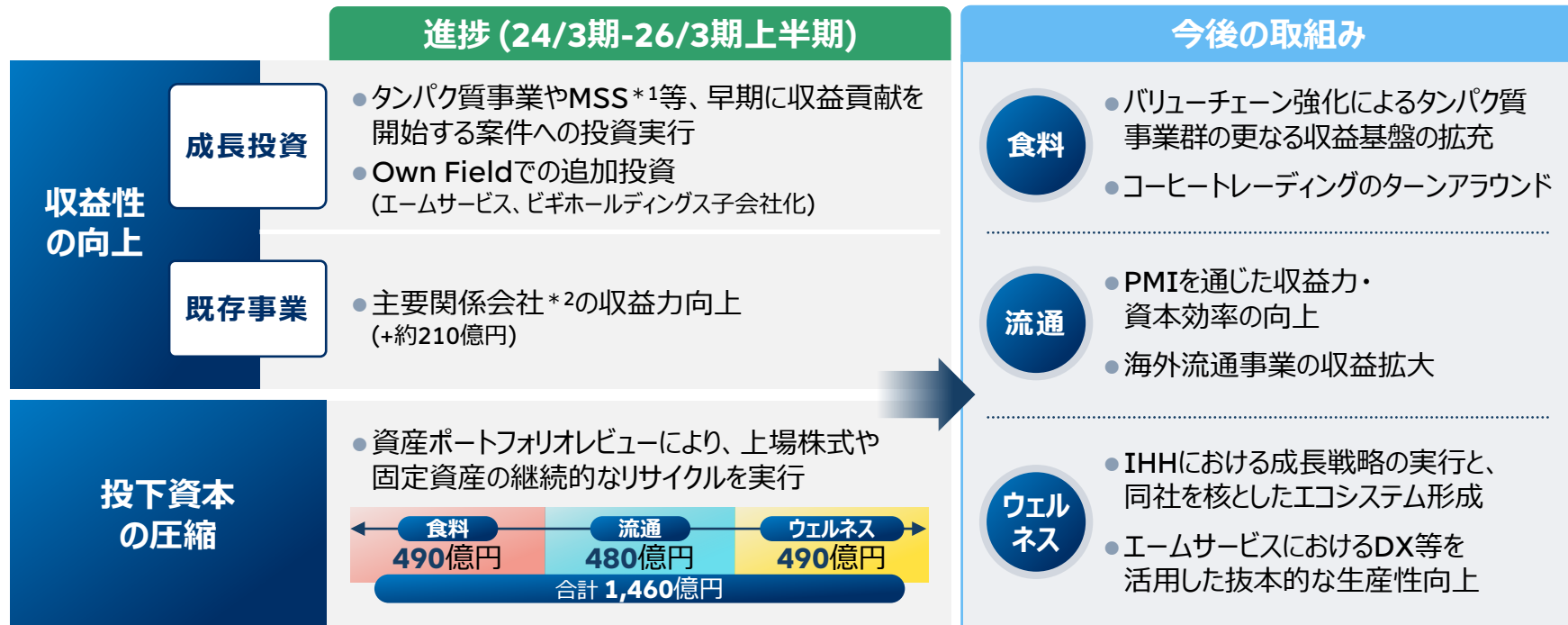
セグメント別 ROICの推移 (資産リサイクル、評価性/一過性除き)



* ROICは単年ROICの平均で計算しているため、当期利益をROICで割り戻して算出される投下資本と、チャートが示す投下資本は一致しない

生活産業セグメントのROIC改善

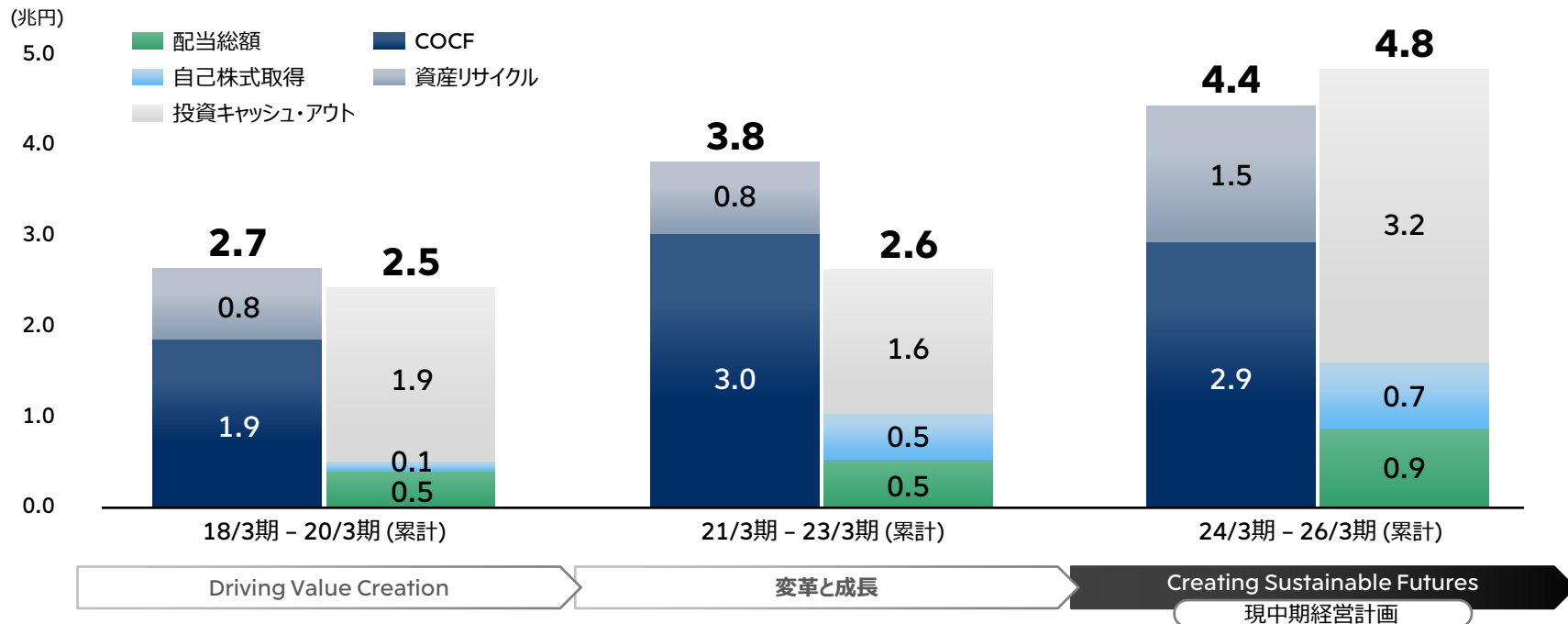
- ◆ 現中経でROIC約2%改善を目標に設定するも、課題案件もあり現時点で未達
(23/3期末：3.1% → 25/3期末：2.5%)



* 1 MSS (三井物産サプライチェーン・ソリューションズ) * 2 決算説明会資料「主要投資先損益」に掲載している関係会社の23/3期末から25/3期末の増減

投資と株主還元の実績

◆ 力強いキャッシュ創出力をベースに、バランスを意識しつつ投資と株主還元の双方を拡大



現中経におけるキャッシュ・フロー・アロケーションの実績

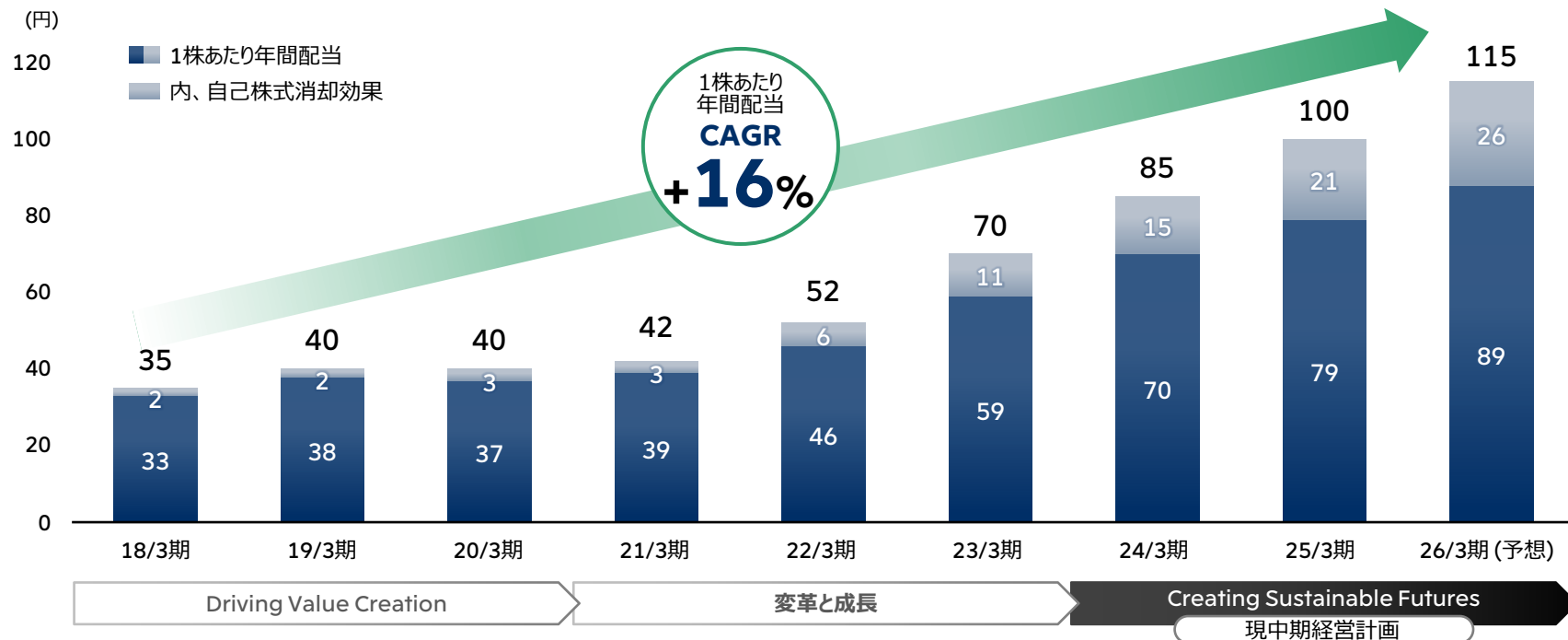
- ◆ キャッシュ・インは現中経の公表時から8,100億円増加、バランスシートからマネジメント・アロケーションへの4,000億円充当も含め、投資と株主還元を拡充

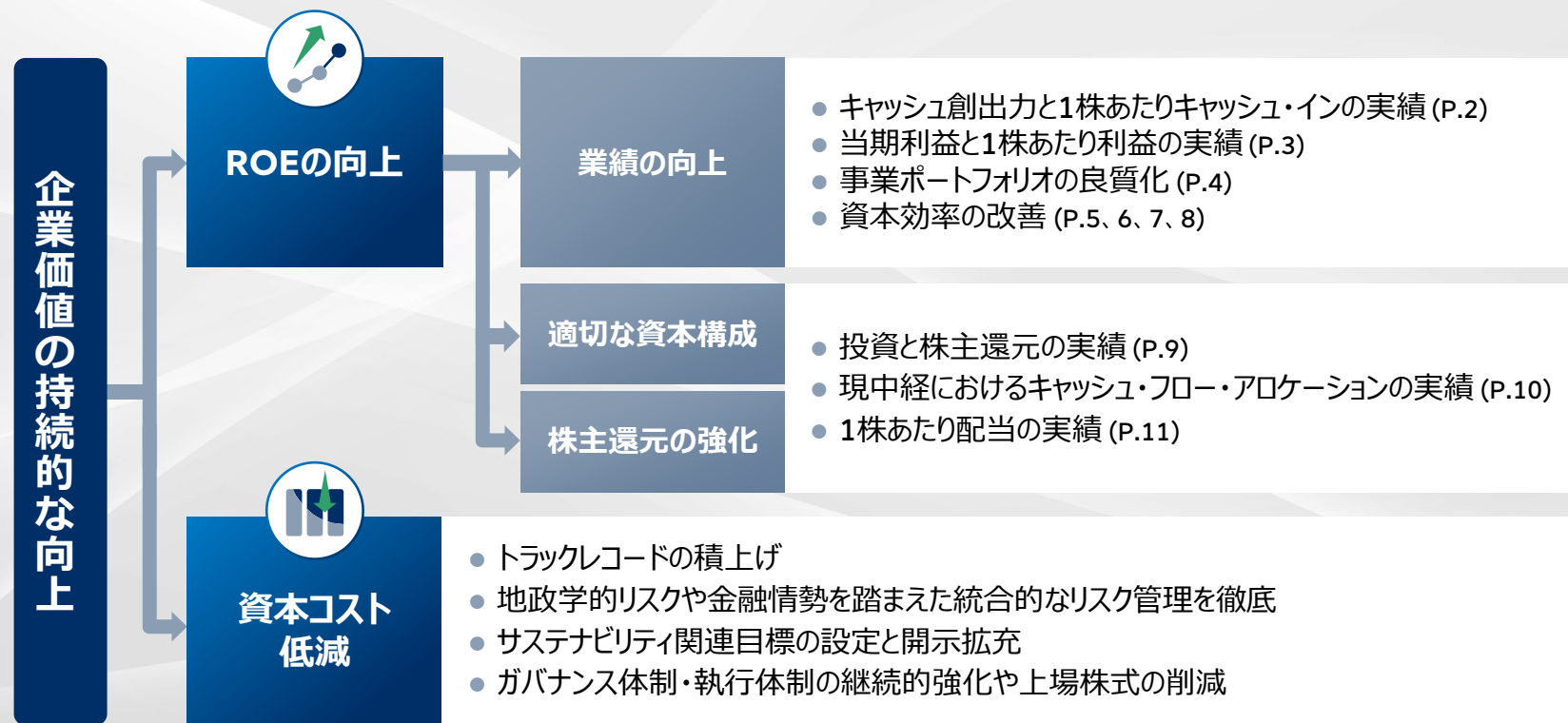
(単位：億円)		中期経営計画 2026 3年間累計計画 (2023年5月公表)	中期経営計画 2026 3年間累計見通し (2025年11月公表)	増減	マネジメント・アロケーション の増減内訳・配分	
IN ↓ キャッシュ・ イン*1	基礎営業キャッシュ・フロー	27,500	29,300	+ 1,800	中経公表時 +11,300	
	資産リサイクル	8,700	15,000	+ 6,300	キャッシュ・イン増加 +8,100	
	キャッシュ・イン合計	36,200	44,300	+ 8,100	BSからの充当 +4,000	
OUT ↓ キャッシュ・ アウト*1	事業維持 (Sustaining CAPEX)	5,700	6,900	+ 1,200	総 額 23,400	
	成長投資	11,700	25,400	+ 13,700	投 資 ▲14,900	
	マネジメント・ アロケーション	11,300	-	-	株主還元 ▲8,500	
	自己株式取得	700	7,200	+ 6,500	配 分 ▲23,400	
	配当	6,800	8,800	+ 2,000		

*1 定期預金の増減は除く

1株あたり配当の実績

- ◆ 配当は年平均成長率16%で成長、継続的な自己株式取得及び消却により1株あたりの還元を拡大し、その効果が経年で積み上がり





360° business innovation.

